碁老連ニュース　第45号

碁老連の目的

ボケ防止のために，老人囲碁同好者の誰もが〝碁を楽しむ〟ことが出来るよう，機会と場所を確保するために相協力し，囲碁を通じて親睦を図り，更には，より良き福祉社会の建設に貢献することを念願とする。

発行日	平成5年10月8日
発行所	八王子の碁を楽しむ老人連合
〒193	八王子市初沢町1434-46
TEL	(0426) 66-3754
発行人	熊崎正一

第3回NTT敬老囲碁大会決勝戦

開催日時　平成5年9月26日午前8時50分
開催場所　NTT八王子支店八日町ビル（八日町10-3，電24-8300）
主　催　NTT八王子支店
後　援　八王子市教育委員会，財団法人日本棋院
協　賛　八王子の碁を楽しむ老人連合（碁老連）
競技方法　(1)，Aクラス（4段以上），Bクラス（3段・2段），Cクラス（初段・準初段），Dクラス（2級～4級），Eクラス（5級～10級）の5クラス別に行う。
(2)，各クラス共3回戦を行い，成績により4名が決勝戦に進出する。
表　彰　各クラス毎に，優勝者，準優勝者，第3位者に賞状を授与する。
副賞として日本棋院製のトロフィーを贈呈する。
尚，参加者全員に参加賞を贈呈する。
祝寿賞　第1次予選（各地区大会）に参加された85才以上の愛好者に対し，碁老連より特別参加賞として贈呈する。
競技成績　次の通り

Aクラス（4段以上）成績表

予選

勝敗	参加者 氏名	段	予選	1回戦	2回戦	3回戦	決勝戦
1	高橋 実	5	2	○	○	○	1
2	奥山 和英	5	1	○	○	○	1
3	宮内 庄也	6	1	○	○	○	1
4	豊田 弘伯	4	1	○	○	○	1
5	平山 智之	5	1	○	○	○	1
6	黒沢 寛治	6	1	○	○	○	1
7	伊藤 栄一	7	1	○	○	○	1
8	河井 平尚	6	0	○	○	○	1
9	阪本 勝	5	1	○	○	○	1
10	藤田 宏美	4	1	○	○	○	1
11	国村 吉人	4	1	○	○	○	1
12	藤田 宏美	6	1	○	○	○	1
13	市川 日星	6	1	○	○	○	1
14	黄成	11	1	○	○	○	1
15	稲場 利夫	5	1	○	○	○	1
16	石田 江男	7	1	○	○	○	1
17	保屋野 正清	5	1	○	○	○	1
18	八木 義光	4	1	○	○	○	1
19	小西 微	6	1	○	○	○	1
20	雨宮 久徳	4	1	○	○	○	1

優勝　宮内

準優勝　稲場

第3位決定戦

第3位	
市川	

小西 微	市川日星	宮内庄也	稲場利夫
6	6	6	5

市川日星	宮内庄也	小西微	稲場利夫
6	6	6	5

(1)

Bクラス（2級・3段）成績表

予選

参加者 NO.	氏名	級	一回戦 勝敗	対局者	二回戦 勝敗	対局者	三回戦 勝敗	対局者	勝数
1	六本木 茂	2	○	松井	○	石井	○	片山	2
2	増田 喜一	〃	〃	石井	○	森	㊍	雲林院	2
3	片山 泰四郎	3	〃	片山	不戦	松井	×	根本	1
4	石井 正之	〃	〃	六本木	×	六本木	×	雲林院	1
5	雨宮 国蔵	2	〃	佐々木	×	奥村	×	根本	1
6	佐々木 俊郎	〃	〃	雨宮	×	高橋	○	松井	2
7	桑原 博	3	〃	安谷屋	×	城定	×	雨宮	0
8	安谷屋 哲一	2	〃	桑原	○	根本	○	平	2
9	片田 健一郎	3	〃	高橋	×	福田	×	六本木	0
10	高橋 重二	2	〃	片田	○	佐々木	×	増田	1
11	石山 徳義	〃	〃	杉本	○	戸泉	×	大河原	1
12	杉本 俊三	3	〃	石山	×	雨宮	○	横藤田	1
13	奥村 章	〃	〃	森	×	増田	○	杉本	2
14	森 逸男	〃	〃	奥村	○	不戦	㊍	不戦	2
15	横藤田 正	2	〃	平	×	雲林院	×	杉本	0
16	平 辰雄	〃	〃	横藤田	○	西山	○	安谷屋	3
17	城定 武	3	〃	稲垣	×	桑原	○	不戦	2
18	稲垣 良夫	2	〃	城定	○	不戦	㊍	戸泉	3
19	安藤 久雄	3	〃	戸泉	×	六本木	○	福田	2
20	戸泉 嘉治	〃	〃	安藤	○	石山	○	稲垣	3
21	大河原 静	〃	〃	根本	×	杉本	○	福田	2
22	根本 忠紀	2	〃	大河原	○	安谷屋	○	安藤	3
23	西山 孝二	〃	〃	福田	○	平	×	安藤	2
24	福田 喬	3	〃	西山	×	片田	○	片山	2
25	松井 豊	2	〃	雲林院	×	石井	○	松井	2
26	雲林院 正	〃	〃	松井	○	横藤田	×	西山	2

Cクラス（初級・準初級）成績表

予選

参加者 NO.	氏名	級	一回戦 勝敗	対局者	二回戦 勝敗	対局者	三回戦 勝敗	対局者	勝数
1	桑原 長次郎	初	×	佐藤(吉)	×	植松	×	佐藤(吉)	1
2	高瀬 京一	〃	○	桑井	○	西谷	○	桑井	2
3	植松 四郎	〃	×	吉田	○	桑原	×	吉田	2
4	西谷 章	〃	×	堀口	×	高瀬	○	植松	0
5	吉田 国男	初	○	植松	○	佐藤(吉)	×	堀口	3
6	高橋 一郎	初	×	吉田	×	安田	○	安部	0
7	安田 実	〃	×	佐藤(吉)	○	高橋	×	嶋根	1
8	佐藤 吉男	初	○	安田	×	吉田	○	高瀬	2
9	桑井 英一	〃	○	堀口	×	田辺	×	堀口	1
10	田辺 覚	初	㊍	桑井	○	堀谷	㊍	不戦	3
11	堀口 哲	初	×	堀谷	×	桑井	×	西谷	1
12	堀谷 一	初	○	堀口	○	田辺	×	吉田	2
13	吉田 仁	〃	×	島津	×	嶋根	○	堀谷	1
14	島津 中	〃	×	吉田	○	名取	○	吉田	2
15	名取 進	〃	×	嶋根	×	島津	×	嶋根	0
16	嶋根 昭	〃	×	名取	×	吉田	×	堀谷	0
17	阿部 博	〃	×	阿部	○	安部	×	名取	1
18	佐藤 文夫	〃	×	佐藤(文)	×	阿部	×	佐藤(文)	0
19	吉田 孝之	〃	×	吉田	×	佐藤(文)	○	阿部	2
20	安部 演男	初	×	安部	○	吉田	○	吉田	2

決勝戦

優勝 名取

準優勝 吉田

三位決定戦

才三位 吉田

吉田 国男 初	名取	田辺 覚 初
田辺 覚 初	吉田 孝之	吉田 孝之
〃 〃	〃 〃	〃 〃

Bクラス 決勝戦

決勝戦

優勝 森

準優勝 松井

三位決定戦

第三位 稲垣

稲垣良夫	平辰雄	森逸男	松井豊
〃	2	2	3	〃	2

Dクラス（2級～4級）成績表

予選

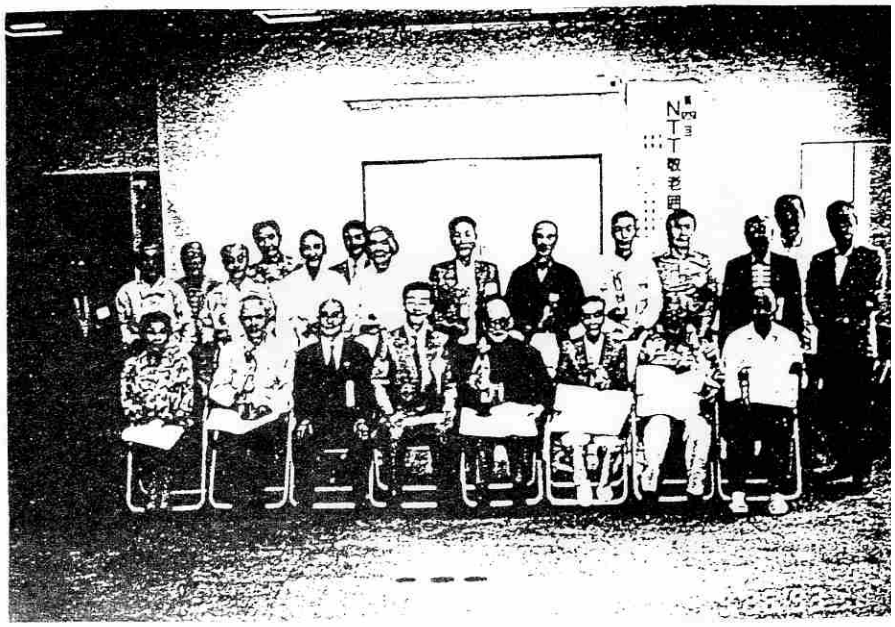
| | | |

第7回敬老連囲碁大会の開催通知

開催日時	平成5年11月7日午前9時
会場	総合福祉センター（東浅川町551-1，電67-1331）
主催	八王子の碁を楽しむ老人連合（敬老連）
後援	財団法人日本棋院，読売新聞社八王子支局
協賛	八王子囲碁研究会
参加費	500円（山菜弁当，パック茶付）
競技方法	(1). Aクラス（4段以上），Bクラス（2段・3段），Cクラス（初段・準初段）の3クラス別に行う。 (2). 各クラス共3回戦を行い，勝者同士の対戦による3連勝者が決勝戦に進出する。
競技規定	従来通り
表彰	各クラス共優勝，準優勝，第3位に賞状及び副賞を授与する。 尚，賞状は日本棋院との連名となっている。
参加申込	各弄囲碁同好会で所属会員より参加者を募集し，取りまとめて御報下さい。　但し，参加条件は9月末現在の会員に限る。
参加締切	平成5年10月31日（必着）までに御報告願います。
特別注意事項	(1). 参加者に対する名札は，各弄囲碁同好会で御持参下さい。 (2). 自家用車で参加される方は，敬老連臨時駐車場（後南会館駐車場，東浅川町120，電61-2432）を御利用下さい。 尚，総合福祉センターの駐車場は使用禁止となっておりますので強行駐車の方は競技会への参加を取消します。

〈0〉

NTT敬老囲碁大会入賞者記念写真



（4）

やはり碁が一番 確信深める 金子先生

9月4日、八王子市の総合福祉センターで、あるテストが行われた。同市碁老連研修会囲碁大会席上であった。

テストは老人の痴呆に関するもので、この分野の権威、金子満雄医師（浜松医療センター副院長）の指導のもとに行われた。

ボケ防止のために囲碁を！とかねてより運動をすすめる碁老連会長の熊崎正一さんが金子先生に講演とテストを依頼し、快諾を得て実現したものだった。

当日、金子先生は、神経心理士10人を伴って会場入りした。

テストは数ある痴呆検査の一つである「かなひろい」と呼ばれるもの。文章の中で決められたかなに○をつけ、同時に大意をどの程度理解しているかを調べるもの。

その結果が別表である。碁老連の平均点数が一般の人のそれよりかなり高得点。（テストは50代3名を加えた74人）「予想通りの結果です」と満足気な金子先生。

テストの採点中、スライドを使っての講演では、年とともに脳機能が衰えるのは仕方ない。軽度のボケならライフスタイルを変えることによっていくらでも直る、というもの。アルツハイマーに移行しては手遅れ、というのだ。

脳の健全さを保つには碁が一番という持論の金子先生。会場にいあわせた碁老連の人たちに勇気と希望を与える一方で、低得点の人には一人一人カウンセリングをほどこしていたが、老後をどう積極的に生きるべきかにそのテーマはあったように思う。

ここで平成元年に金子先生が調査したデータを示そう。65歳以上のお年寄り130人（早期痴呆群）とテストで優秀な成績を収めた老人124人（優秀群）の趣味を調査したものである。

調査、検討する金子先生（中央）左が熊崎さん

講演の日、元気に対局する碁老連

〈碁老連平均〉

	〈一般〉	〈碁老連〉
60代（41人）	22・0	26・3
70代（24人）	17・0	24・7
80代（6人）	10・7	17・0

【表1】

【表2】

	優秀群	早期痴呆群
囲碁	23人	2人
将棋	19人	6人
マージャン	10人	1人
生け花	14人	1人
茶道	7人	3人
楽器演奏	26人	2人
音楽鑑賞	18人	5人
民謡	23人	27人
カラオケ	11人	6人
俳句・短歌	19人	2人
読書	37人	13人
編み物・手芸	25人	19人
裁縫	29人	23人
園芸	44人	25人
旅行	66人	52人
ゲートボール	65人	33人

NTT敬老囲碁大会において祝寿賞贈呈者

地区別	段・級位	氏名	生年	住所		電話	
由井	準初段	深井浜一	明36	片倉町	1069-147	36	9253
北野	3段	杉本俊三	〃〃	北野台	3-38-7	35	7745
浅川	8級	木津海吉	〃38	初沢町	1434-24	61	7410
〃	初段	堂谷一	〃〃	狭間町	1329-133	63	3160
〃	10級	片桐美寿久	〃39	東浅川町	258	65	1038
八王子	7段	河井尹尚	〃40	美山町	1463美山池	51	0461
浅川	10級	峰尾金作	〃41	裏高尾町	1155	61	5141
		7名					

研修会員の脳機能テストに関する御報告

去る9月4日開催の研修会員74名の「脳機能テスト」に関し，下記のような金子先生のコメントを頂戴致しましたので御報告申し上げます。
今回のテストの結果に鑑み，"ボケ防止のためには囲碁が最適"と主張して参りました碁老連の方針が裏付けられた事となり，今後は，自信を持って積極的にボケ防止運動に邁進する覚悟を新たにしておりますので，会員各位におかれても確信を持って御協力下さいますよう御願い申し上げます。
さて，前記のような自信を得ましたので，碁老連として今年中に，下記2件について活動を開始する予定でおります。

記

1，日本棋院に対し，囲碁普及のため，"ボケ防止のために碁を打ちましょう"運動を全国的に展開して頂くと共に，碁老連のような団体を全国各都市に設立して頂くよう要請する。
2，東京都老人クラブ連合会及び東京都に対し，ボケ老人対策のために老人会の目的として新たに"ボケ防止対策"を追加し，ボケ老人問題に積極的に取組んで頂くよう要請する。

コメント　　浜松医療センター　金子満雄

9月4日の「かなひろいテスト」の成績は、予想通りの結果を示しました。

「囲碁を楽しむ人にぼけた人はいない。」という私の持論は、数千人にのぼる外来患者の問診、一般地域住民約１３００人に対する生活実態調査、囲碁クラブにおける調査から導き出されたものですが、対局中に、いかに脳が生き生きと活性化されているかは、囲碁ファンのみなさんはまさに実感していらっしゃると思います。

	碁老連		一般住民	
	点	人	点	人
50代	34.0	3	33.1	289
60代	26.3	41	24.0	702
70代	24.7	24	17.3	1184
80代	17.0	6	10.7	278

「かなひろいテスト」は、元来、加齢に応じて成績が低下するテストです。

左表でもその傾向は顕著に出ていますが、「碁老連」の皆さんの成績が、「一般住民」の成績に比べて、高齢になるほど良好な点がもっとも特徴的です。

「一般住民」では、高齢になるにつれて、脳の機能が衰えてしまった人々が混在してくるために平均点が極端に下がってきます。そして、その人々は痴呆の予備軍で、調査では「趣味や生きがいがない。人との交際をしない。運動もしない。」というないない尽しの人々でした。

「碁老連」の皆さんの成績が良いのはないない尽しの生活をしていらっしゃらない証拠といえるでしょう。

これからも、脳をしっかり使って充実した生活を楽しみながら、「ぼけ」と無縁でいてくださるようにお願いします。

金子満雄先生が提唱されている脳機能テストの実践者街報告の件

去る9月4日総合福祉センターにて金子満雄先生の"ボケ防止に関する講演会(テスト実施)"を開催致しましたが、
其節、偶然にも八王子市総合福祉センターの保健婦野川麻知子さんが既に3年前より機能訓練に金子先生の脳機能テストを活用されていることを始めて知りました。
保健婦としての職業柄と云えばそれまでですが、積極的で進取的な対応振には心から敬意を表し、同氏に今までの経緯についてのコメントを要請した次第です。

コメント

金子先生との出会いは、1988年9.10月号「地域保健」－特集1．老年痴呆の進行防止とリハビリ・早期スクリーニング法と脳機能訓練法－の月刊誌で、八王子市の地域保健活動に従事していた時でした。

そして、この検査法を最初に活用させていただくようになったのは、その2年後、1990年、私が八王子市立老人ホームに移動してからのことです。

施設内におこる問題やトラブルがきっかけで、痴呆によるものか、知的障害によるものか、性格的なものか、病気によるものか、判断に戸惑うことに遭遇したのです。

その時に、その人の今までの生活史をよく知ることと、早期に前痴呆状態にあるかを検査していれば、個々のお年寄りに対する対応が、スムーズに行くのではないか？と思ったからでした。

そこで、先生の前頭葉機能検査とMMS（ミニ・メンタル・スケール）検査をしてみたところ、思いもかけない人が、点数が少なかったり、あったり、また、検査項目によってバラツキがみられたりすることがわかり、お年寄りを理解できていなかったことに驚ろかされたのを覚えています。

現在、私は、八王子市総合福祉センターの機能訓練事業を1991年より担当しております。

この事業は、脳血管疾患によって中途障害になられた人や病気や事故また加齢によって、身体機能が低下した人を対象としています。

事業内容は、社会生活活動の自立をめざすもので、それにむけての個別訓練や集団体操・レクレーション療法を行っています。

この事業の中で、全訓練者に対して、先生の早期痴呆のスクリーニングとして、かな拾い・動物名想起テスト・立体模写の3項目を行い、その結果、3項目全てが低下している人に対して、MMS検査を行っています。

機能訓練に来られて、変化が大きいのは、精神面です。

寝癖のついた髪、パジャマのような服装だった人が、パーマをかけたり、お化粧したり、外見から変わってきて、顔の表情や笑いが生まれてきます。3項目の検査にも、明らかな変化が現れます。

そして、訓練に携わる側にとっては、グループ毎のレクレーションの内容の選択や介助の仕方について、スタッフ間の統一理解を図るためにも、客観的データは、とても役立っています。

先日、思いもかけず、囲碁の代表者を通じて、金子先生に直接お会いする機会を与えられ、とても嬉しく思いました。

現在、寝たきりや軽症痴呆・重症痴呆の介護体制や施設の充実が急がれていますが、先生の提唱されている前痴呆状態者を早期発見し、その人達に対して、早期痴呆の進行を止めるための地域活動が組織されることもまた、今望まれているところです。

そうした中で、まだまだ限られた人を対象とした小さな試みの訓練事業ではありますが、一人でも生き生きと、輝きある心、生きる喜びを感じる心を呼び起こしてくれたらと願いつつ、働かせていただいて、おります。

八王子市総合福祉センター
保健婦　　野川　麻知子

第4回碁老連研修会囲碁大会成績（9月4日開催）

Aクラス（3段以上）成績表

予選

参加者	段	氏名	一回戦	二回戦	三回戦	勝敗
1	2	大河原静	佐藤要吉	戸谷	奥村	1
2	2	佐藤	大河原	奥山	戸谷	○
3	2	清水勇	不戦	不戦	不戦	3
4	2	城定武	保屋野正有	保屋野	保屋野	0
5	2	西山孝二	奥村	長谷川	長谷川	2
6	2	奥村章	西山	大河原	大河原	○
7	2	片岡健一郎	保屋野	保屋野	佐藤	1
8	2	保屋野正有	片岡	片岡	戸谷	○
9	2	戸谷富美男	戸谷	大河原	大河原	2
10	2	長谷川忠	長谷川	城定	城定	○
11	2	加藤春男	小林晃	渡辺	渡辺	3
12	2	小林晃	加藤	加藤	加藤	○
13	2	渡辺春男	梅田	梅田	梅田	1
14	2	梅田昭二郎	渡辺	小林	小林	○
15	2	榛原彰	安藤久雄	安藤	榛原	3
16	2	安藤久雄	榛原	榛原	榛原	○
17	2	平山智文	平山	平山	平山	4
18	2	奥山和英	奥山	奥山	奥山	○
19	2	城定武	西山孝二	西山	西山	5
20	2	長谷川忠	長谷川	長谷川	長谷川	○
21	2	梅田昭二郎	梅田	梅田	梅田	5

決勝戦

優勝 奥山

準優勝 梅田

三位決定戦

第三位 長谷川

長谷川忠	5
渡辺春男	3

梅田昭二郎	5
長谷川忠	5
渡辺春男	3
奥山和英	5

Bクラス（初段・2段）成績表

予選

参加者	段	No. 氏名	一回戦	二回戦	三回戦	勝敗
1	2	石井孝之	松井豊	植松	植松	1
2	2	中島義孝	松井	石井	石井	○
3	初	島津仁	島津	中島	中島	2
4	2	當間一郎	當間	當間	當間	○
5	2	冨井栄	冨井	冨井	冨井	3
6	初	稲垣良夫	稲垣	稲垣	稲垣	○
7	2	市川隆一	市川	市川	市川	4
8	初	稲垣	稲垣	稲垣	稲垣	○
9	2	地田信	地田	地田	地田	5
10	2	大本木茂	大本木	大本木	大本木	○
11	初	長嶋茂	長嶋	長嶋	長嶋	6
12	初	西宮国蔵	西宮	西宮	西宮	○
13	2	石山徳義	石山	石山	石山	7
14	初	山本進	山本	山本	山本	○
15	2	二見義雄	二見	二見	二見	8
16	2	藤岡光盛	藤岡	藤岡	藤岡	○
17	初	植松四郎	植松	植松	植松	9
18	2	平辰雄	平	平	平	○
19	初	片山泰盛	片山	片山	片山	10
20	2	橋場政明	橋場	橋場	橋場	○
21	2	嶋田高明	嶋田	嶋田	嶋田	11
						12
						13
						14
						15
						16
						17
						18
						19
						20
						21

決勝戦

優勝 島津

準優勝 石山

三位決定戦

第三位 藤岡

藤岡光盛	2
市川隆一	○

島津仁	初
藤岡光盛	2
石山徳義	○
市川隆一	○

Cクラス（1級～4級）成績表

参加者	級	氏名	一回戦 対局者	一回戦 勝敗	二回戦 対局者	二回戦 勝敗	三回戦 対局者	三回戦 勝敗	決勝戦 対局者	決勝戦 勝敗	勝敗
1	3	野口勝久	小林福喜子	○	水野	○	森	×	倉島	×	2
2	4	小林福喜子	野口	×	伊藤	○	倉島	×	小池	○	2
3	4	鈴木原夫	森	×	大越	○	小池	○	森	×	2
4	5	森光生	鈴木原夫	○	不戦	㊀	不戦	㊀	鈴木	○	3
5	6	那波徹雄	伊藤	○	小池	×	小林	×	鈴木	×	0
6	7	伊藤龍朗	那波	×	野口	×	野口	×	倉島	×	1
7	8	鈴木功	深沢	×	深沢	×	立石	×	伊藤	×	0
8	9	深沢辰男	鈴木功	×	鈴木功	×	丸	×	石	×	0
9	10	木野津昭	石丸	×	石丸	×	小林	×	深沢	×	0
10	11	石丸盛神	木野	×	水野	×	深沢	×	那波	×	0
11	12	練尾明	堀口	×	堀口	×	練尾	×	小池	×	0
12	13	堀口哲	鈴木昭二	×	練尾	×	鈴木	×	不戦	㊀	0
13	14	小笠原正顕	練尾	×	鈴木(昭)	×	練尾	×	堀口	×	0
14	15	三ケ田正雄	小笠原	×	鈴木(昭)	×	堀口	×	練尾	×	0
15	16	高橋清美	三ケ田	×	高橋清	×	三ケ田	×	三ケ田	×	0
16	17	大越栄子	高橋清	×	三ケ田	×	倉島	×	大木	×	0
17	18	小池英一	大越	×	大越	×	大木	×	大越	×	0
18	19	大木喜代蔵	小池	×	倉島	×	大越	×	坂本	×	0
19	20	倉島弘	大木	×	大木	×	坂本	×	立石	×	0
20	21	佐藤富雄	倉島	×	坂本	×	立石	×	佐藤	×	0
21	22	立石運	佐藤	×	立石	×	佐藤	×	坂本	×	0
22	23	坂本利雄	立石	×	佐藤	×	坂本	×	三ケ田	×	0
23											

優勝 小笠原

準優勝 森

三位決定戦

才三位 鈴木

小笠原正顕	小池英一	森光生	鈴木昭二

Dクラス（5級～10級）成績表

参加者	級	氏名	一回戦 対局者	一回戦 勝敗	二回戦 対局者	二回戦 勝敗	三回戦 対局者	三回戦 勝敗	決勝戦 対局者	決勝戦 勝敗	勝敗
1	5	村井満雄	伊藤	○	村井	○	不戦	㊀	不戦	㊀	3
2	8	伊藤保江	村井	×	細野	×	飯田	×	飯田	×	0
3	8	飯田吾二郎	稲垣	×	高瀬	×	細野	×	稲垣	×	0
4	6	大神田敏雄	飯田	×	稲垣	×	稲垣	×	飯田	×	0
5	6	片桐美寿夫	大神田	×	片桐	×	飯田	×	伊藤	×	0
6	7	木津梅吉	片桐	×	木津	×	木津	×	木津	×	0
7	8	文屋克彦	木津	×	文屋	×	文屋	×	文屋	×	0
8	5	高瀬八重	文屋	×	高瀬	×	高瀬	×	武発	×	0
9	5	福田英輔	武発	×	福田	×	武発	×	福田	×	0
10	9	武発悦子	福田	×	武発	×	福田	×	細野	×	0
11	10	細野富代	武発	×	細野	×	武発	×	武発	×	0
12											

優勝 武発

準優勝 村井

三位決定戦

才三位 伊藤

福田英輔	伊藤保江	武発悦子	村井満雄

八老連 30週年記念第19回囲碁大会成績

開催日 平成5年8月31日
会 場 老人福祉センター

A 組（有段者）成績表

| | | |